

平成30年度 地域の医療・介護職種による相互研修（交流）会ご報告

日時:平成30年10月17日(水) 18:30~20:30

会場:石巻赤十字病院 災害医療研修センター 講堂

対象者:石巻市内全域の地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・訪問介護事業所の職員

※オブザーバーとして、訪問看護師

～内容～

第1部 グループワーク

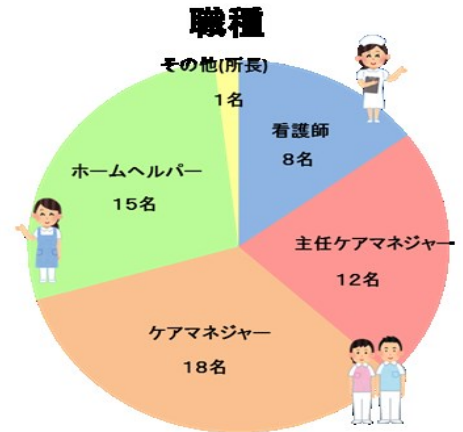
『在宅療養の看取り期における
患者の変化と介護職の役割』

第2部 講話

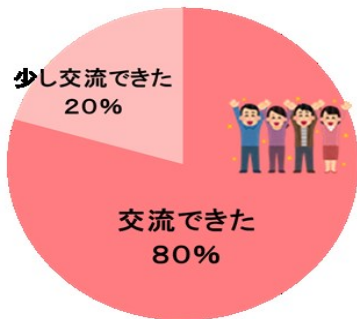
『介護職にも知ってほしい看取り期のこと』

講師:石巻市立病院 診療部 内科医長
佐藤 寿和先生

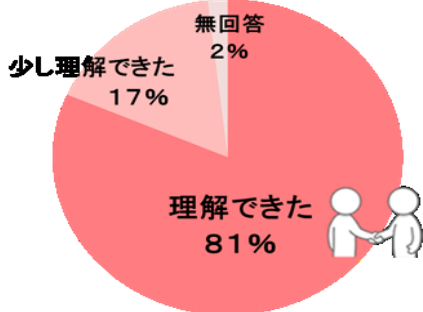
参加者 計54名



他職種と交流できたか



他職種の仕事内容や役割について 理解できたか



第1部 グループワーク



第2部 講話



参加者の声

- ☆傾聴し、些細な事でも言い合えるような関係性を築いていけるようにしたいと思います。訪看さん、Dr、ヘルパーさんの業務内容、それに対する考え方、思いを知れて良かったです。
- ☆サービス調整後も関係者間のごまめな連絡を取り続けることの必要性の再確認と自分自身のコミュニケーション不足を感じた。
- ☆グループの訪問看護師さんが発言してくれたことで、日々の業務や終末期の本人や家族への対応が間違っていないかと確認する事もできました。
- ☆看取り期に、自分の役割に不安を持たれている方がいました。どう関わってよいのか悩むのは誰でもあると思いますが、何に対して不安なのかを多職種で相談する場を作って情報共有に関わっていく事が大切だと思った。